

1 研究主題

人権が尊重される授業・なかま・土台づくり

2 研究の具体

(1) 主題背景について

本校の課題の一つに、不登校傾向の生徒の増加がある。不登校の理由として「学校に行くのが楽しい」、「自分にはよいところがある」の肯定的回答が県平均を下回るなど自尊感情の低さが考えられる。また、本校には、性的指向や性自認についての悩みを打ち明けるもおり、多様化する人権問題についての教職員研修の機会と充実が必要である。

このような課題を解決するためには、生徒が「授業が楽しい」「友達と過ごすのが楽しい」と感じられる学校をめざし、生徒一人ひとりの人権が大切にされる学校づくりの推進が必要である。

そこで、本年度は、一人ひとりの「人権が尊重される授業・なかま・土台づくり」をテーマとして、生徒が誰にとっても学びやすい環境で確かな学力を身に付け、人権が保障された空間で豊かな心を育む教育活動を進めたいと考え、3つの視点から、人権が尊重された学校づくりを推進している。

(2) 研究の実際について

① 授業づくり

昨年度からの授業改善の実践を「人権が尊重される授業づくり」の視点で見直し、整理している。「個を活かす協働的な学び」「個に応じたきめ細かな指導」を通して、誰にとっても学びやすい授業づくりをめざすことで、生徒の人権を尊重した授業づくりをしたいと考える。



② なかまづくり

生徒にとって、安心して過ごせる居場所があり、友だちと語り合ったり、学校行事を通してなかまのつながりが感じられたりすることは、学校生活を楽しくする一因であり、不登校などの未然防止につながると考えている。



③ 土台づくり

生徒の人権意識を高めるために、まず、教職員の人権意識を高めていく必要がある。教職員の人権意識を向上させるための校内研修や人権月間の取組について研究を進めており、現職教育や職員会の時間に、さまざまな形での教職員研修を行っている。

